

オーストラリアと日本のスーパーマーケットの違いについて

大内 美朋（高校2年）

私はオーストラリアのスーパーに連れて行ってもらい、日本との違いを調べた。

- ・カートがとても大きく手荷物を置ける。飲み物を置けるスタンドがある。
- ・カートが大きいので、道幅が広い。
- ・肉がかたまりで売っている。カンガルーの肉など、種類が豊富。売り場面積が広い。
- ・野菜は一つ一つのばら売りで売っている。トマトのヘタがくっついて売っている。
- ・シリアルの種類がたくさんある。
- ・レジで買ったものは、前の人と仕切り棒で区切ってベルトコンベアーに乗せる。
- ・店員さんがレジ袋に入れてくれる。
- ・フルーツなどの値段が写真付きでどれが何ドルかわかりやすい。
- ・アイスが棒状のものだけでなく、すくうタイプの大きいものも売っている。
- ・レシートの裏に次回使えるクーポンが印刷されている。
- ・キットカットの大きさが日本よりも大きい。
- ・割引の宣伝が店の前のパネルで行なわれている。
- ・有線放送がない。
- ・12品目以下の人用とそれ以上用にレジが分かれている。
- ・試食がほとんど置いてない。
- ・ペットフードが売っている。
- ・食べ物の売り場にミキサーやトースターも売っている。
- ・普通の大きさのスーパーでも、その中に小さいお店が600店舗ほど入っている。
- ・DVDも売っている。

★まとめ★

売っているもののすべてのサイズが大きい
全体的にすっきりしていてわかりやすい。

大量のシリアル→



